

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス事業所さくらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	活動メニューや、グループを工夫しています	人数に応じたスペース作りが出来るように努めて行きます
	2	職員の配置数は適切である	6	1		職員の配置基準は満たしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			車いすでも来所出来るように、スロープを設置しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			支援前、支援後のミーティングを行っています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者の意向を職員全体で共有し、業務改善につなげていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		事業所のホームページや、保護者会で結果を公開しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		第三者委員会は設置する事が望ましいと思いますが、現在は、設置出来ていません
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		久賀谷さんの研修は効果あり支援をする中で必要と思う研修を受講したり、外部の講師を読んで研修を行ったりできている	外部講師を招いて研修を行ったり、必要と思われる外部の研修を受講しています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			適切なアセスメントを行うと共に、子供や保護者のニーズを反映させた計画作りをしています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	PECSも入る？評価キットを使用しているが、計画的に使用する事はまだできていない。	評価キットを使って評価する時間を設定していきたいと思いますが
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			個別支援計画に沿った活動プログラムを考えていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			チームでプログラムを立案していく中で、様々な活動に取り組んでいきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			支援時間に応じて、効果的な支援を設定していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			職員が支援の視点を持ち、子供のニーズ、保護者のニーズをしっかりと把握できるように努めます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		いつも職員の方に的確なアドバイスをもらっています	個別のスケジュールを使って、全体で確認しながら打ち合わせをしています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			送迎で全員そろって出来ないときは、翌日の支援前には共有していきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援の狙いに沿った記録がとれるように、記録用紙を工夫していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		定期的なモニタリングを通して、計画の見直しを行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1		ガイドラインの基本活動を振り返り、活動内容を考えていきます

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		担当者が担当者会議に出席するようにしていきます	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		必要な時にはすぐに連絡を取りやすい関係を、日頃から作っていきます	学校での様子を踏まえた支援が出来るように、学校との情報交換に努めていきます	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5			現在は対象児童の利用がありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		引継ぎシートを使用したり、引継ぎ会議を開催したりしています	児童発達支援事業所とは引継ぎを兼ねた、情報共有会を開き、相互理解に努めるようにしていきます	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		引継ぎ会議に参加したり、支援で使用していたグッズを次の事業所へ提供したりしています	子どもの様子や行っていた支援について共有できる時間を設けていきます	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			共に研修を行い、支援で悩んだことを相談していきます	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	小学校や地域の公園で活動するようにしています	児童クラブに通うお子さんと一緒に出来る活動を企画していきます	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4		可能な限り協議会に参加していきたいと思えます	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時やラインで、児童の様子を伝えるようにしています	保護者との情報交換を行い、状況や課題を共有出来るように努めます	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		保護者の悩みを聞く中で、適切な関わり方を一緒に考えていきます	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時やその都度丁寧な説明をしていきます	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			相談しやすい関係を築いていきます	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	コロナの為、開催する事ができません	保護者会を開催して、保護者同士の連携を支援していきます	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情について適切に対応すると共に、改善点を職員間で共有していきます	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月1回のお便りの発行 年1回の作品展示、写真の展示をし、活動報告をしています	活動や行事予定を子供たちも理解しやすいように発信していきます	
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報の取扱いについて、再度確認して取り組みます	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			絵カードを使用したコミュニケーションを使用する事や、視覚的に理解できるものを活用していきます	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		地域住民と交流できる活動を企画していきます	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	職員のみ	策定しているマニュアルについて、保護者とも共有していきま す
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			様々な災害を想定して避難訓練を行います
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止チェックリスト 虐待研修への参加 内部研修(年2回)	事業所内で虐待防止研修、身体拘束等の適正化の研修をし ていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			身体拘束について職員間で再度確認し、十分な対応が出来る ようにしていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4		食物アレルギーの有無を確認して、医師の指示書の提出を お願いしていきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット報告書を作成し ています	ヒヤリハット事例を振り返り、事故がおこらないように努めて いくと共に、対応について考えていきます